

理英会の構成力を伸ばすシリーズ

プレイボードについて

- プレイボードとは
- 取り組み方
- 教材の使い方



🧩 プレイボードとは

「プレイボード」は、巧緻性や位置の認識力を育てることを目的とした教材です。カラフルなゴムを使って形や模様を構成する遊びを通して、指先の感覚や巧緻性、位置関係や数の認識力、さらに創造力や集中力などのさまざまな力を養います。素材は、ピンも含めて木製で、木のぬくもりが感じられる優しい手触りです。



「ワークカード」は、「プレイボード」の課題を難易度順に分類したカード教材です。基本の使い方から発展的な課題まで、自然に力をつけていくことができます。また、絵が描かれた「プレイシート」を「プレイボード」に敷き、絵に合わせて楽しい作品を作ることができます。

セット内容

プレイボード



180×180mm

カラーゴム

大 (#25) 緑×2
小 (#16) 赤×5 桃×5
紫×5 青×5
橙×5 黄×5

ワークカード (両面)



27枚

165×165mm

プレイシート (両面)



3枚

179×179mm

カードリング

直径 30mm

ダヴィンチくん



約 58×50mm

🧩 構成力を伸ばすには…。

図形に対する感覚には、空間をだまかにつかむ感覚や、大きさや数などの小さな特徴を細かくとらえる感覚があります。これらの感覚は、実際に手を動かす活動や形を使った遊びや構成パズルなどを通じて養われていきます。手や指の神経は脳と密接につながっており、「手は第二の脳」と言われています。幼児期から、パズルなどの具体物を使った活動を多く経験することで脳に刺激を与え、図形に対する感覚を豊かにしていくことが大切です。

取り組み方

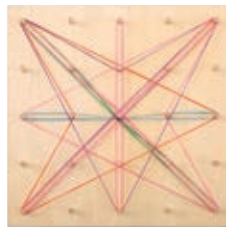
- 「ワークカード」を使って形を作ってみましょう。課題が難易度順に分類されているので、自然に無理なく、しかも楽しく、構成力を身につけることができます。「記録カード」(49～50ページ)や「目標タイム」を活用しましょう。課題に取り組んだ日を「記録カード」に記録し、「見本どおりにできたら○」、「目標タイム内でできたら◎」のようにお子さまの励みになるようなマークを書くなど、ご家庭で工夫してお使いください。

※3歳と4歳(すてっぷC以降)には「目標タイム」を設定していません。課題の完成を目標にして取り組みましょう。



- 「花を作ろう。」「車を作ろう。」のように作りたいものを決めてから、具体物をイメージしながら形を作りましょう。形ができあがったら、おいにほめることが大切です。そのあとで、「もっとこうしたらいいね。」など、簡単なアドバイスをすると効果的です。
- 自由に形を作ってみましょう。形ができあがったら、「何を作ったのかな?」「どんな形かな?」などの質問をして、会話の中で想像力を育てましょう。楽しい雰囲気できり組むとよいでしょう。

■ お子様の作品の一例



教材の使い方

「ワークカード」について ワークカード…27枚(36課題)

基礎 「ワークカード」を見ながら「プレイボード」にゴムをかけて、形を作ります。全36課題を5段階(すてっぷA～E)に分類してあり、段階的に取り組むことができます。各すてっぷの説明を確認してから、課題に取り組みましょう。また、各すてっぷの最後にある「ダヴィンチくんカード」を使い、模写力や想像力を身につけましょう。「書いた形を見ながらゴムをかける。」「ゴムで作った形を書く。」など、自由にお使いください。



発展 「ワークカード」を回転させた形や線対称の形を想像して作ります。線対称図形や回転図形の練習に役立ちます。

発展 「ワークカード」を見て課題をおぼえてから形を作ります。ゴムの配置や色をおぼえる練習を重ね、記憶力を養います。

発展 お家の方の指示を聞いて「ダヴィンチくんカード」に線や形を書き、形を作ります。「右から2番目の列に線を書きましょう。書いたとおりにゴムをかけましょう。」「1番上の段の右端と左端に○をつけましょう。○をつけた位置のピンと、好きなピンを使って△や□を作りましょう。」などの課題に取り組むことで、位置の認識力を養います。

「プレイシート」について プレイシート…3枚(6種)

■「プレイシート」を「プレイボード」に敷き、絵に合わせてゴムをかけて作品を作ります。絵を見てさまざまなことを発想し、楽しく、自発的に課題に取り組むことができます。「ライオンさんをおりに入れてみよう。」など、お家の方が声かけをしてもよいでしょう。

■「プレイシート」は6種類です。

- ①怪獣「口から炎を吹いているよ。」 / クモ「巣を作ってあげよう。」
- ②ゾウ「鼻から水を出して水浴びをしているよ。」 / チョウチョ「すてきな模様にしてあげよう。」
- ③ライオン「おりに入れてみよう。」 / 海「波やヨットを作ろう。」

